

私たちの町の遺跡

二本木発掘物語

■第6話「選ばれた逸品」

二本木遺跡出土の貴重品ってなんだろう??・・・なぜ悩むかというと、たくさんあるからです。貴重品は数が少ないから貴重なのです。ところが他の遺跡で見つかれば数少ないお宝になるはずのシロモノが二本木遺跡ではガラガラみつかります。少々ありがたみに欠けるほどです。この遺跡のすごいところです。そんな中で筆者が選ぶベスト3の逸品をご紹介します。

第3位 ジャカジャン♪♪「43個の青磁・白磁」：800年位昔の井戸の発掘でみつかった、中国産のお碗とお皿です。ひとつひとつはそれほど珍しくはありませんが、43個まとめて出てくると大迫力。

第2位 ジャカジャン♪♪「須恵器浄瓶（じょうへい）」：東海地方の窯で焼かれた水差しです。熊本での出土は非常に珍しい！肥後国に赴任する都の役人が持ってきたのかも。ダダダダダダダダ♪栄えある第1位 ジャカジャン♪♪「唐三彩陶枕（とうちん）」という1200年位昔の中国製の陶器です。とても希少で、小さな破片でもびっくり！原型は枕のような四角い箱で、カラフルな色づけが目を引きまします。一最近、なにが出てきても驚かなくなりました…。

熊本市埋蔵文化財調査室 原田範昭

青磁・白磁



浄瓶



唐三彩



二本木遺跡・・・
貴重な出土品がザックザク
だモン

